

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【公表番号】特表2000-515757(P2000-515757A)

【公表日】平成12年11月28日(2000.11.28)

【出願番号】特願平10-508730

【国際特許分類第7版】

A O 1 K 15/04

A O 1 K 1/12

【F I】

A O 1 K 15/04

A O 1 K 1/12

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月24日(2004.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年6月24日

特許庁長官 殿



1. 事件の表示

平成10年特許願第508730号

2. 補正をする者

名称(氏名) デラヴァール/ ホールディング アクチボラゲット

3. 代理人

住所 東京都港区赤坂1丁目9番20号

第16興和ビル8階

C378

氏名 弁理士 ~~(1-2-3-7-8)~~ 宮崎 昭夫

電話 03-3585-1882



4. 補正対象書類名

請求の範囲

方 式 査 査



5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通り補正する。

請求の範囲

1. 空間（１）を形成し、かつ動物を前記空間に入れることを可能にする少なくとも１つの通路を有する囲い手段と、前記空間内に居る動物に関して搾乳行為を実行する装置（５，８）とを有する、搾乳行為を受ける動物を収容する搾乳房において、

少なくとも前記空間（１）に空気流を生じさせるようになっている送気手段（１８，１８ａ，２８，３０，３１）を有する調節装置を備えていることを特徴とする、搾乳行為を受ける動物を収容する搾乳房。

2. 前記装置（８）は前記行為の実行を制御するために設けられた電子制御装置（１０）を有しており、前記調節装置は前記制御装置（１０）に空気流を供給するために設けられた導管手段（１６，２１）を有している、請求項１に記載の房。

3. 前記電子制御装置はハウジングを有しており、前記調節装置は、さらに、前記ハウジング内に空気を供給して、前記ハウジングの外の圧力よりも高い圧力を前記ハウジング内に生じさせるようになっている、請求項２に記載の房。

4. 前記送気手段（１８，１８ａ，２８，３０，３１）は前記空間（１）内に本質的に清浄な空気の区域を生じさせるようになっている、請求項１から３のいずれか１項に記載の房。

5. 前記調節装置は、前記送気手段を外の周囲の大気に接続し、かつ新鮮な空気を前記送気手段と前記空間（１）とに供給するようになっている導管手段（１３）を有している、請求項１から４のいずれか１項に記載の房。

6. 前記送気手段は、前記動物が居る前記空間（１）の区域に向けて前記空気流を導くようになっている空気出口手段（１８，１８ａ）を有している、請求項１

から5のいずれか1項に記載の房。

7. 前記調節装置は、送られた前記空気の温度を前記動物にとって快適な高さに調節するようになっている温度調節手段（15）を有している、請求項1から6のいずれか1項に記載の房。

8. 前記調節装置は、送られた前記空気の湿度を前記動物にとって快適な高さに調節するようになっている湿度調節手段（14）を有している、請求項1から7のいずれか1項に記載の房。

9. 前記房は前記空間（1）内に新鮮な水の供給源（11）を有しており、前記調節装置は供給された前記新鮮な水の温度を調節する温度調節装置（20）を有している、請求項1から8のいずれか1項に記載の房。

10. 前記囲い手段（2, 3, 4, 17, 24, 26, 27, 29）は前記空間（1）の外の大気の内側に向かうガスの流れを防ぐようになっている、請求項1から9のいずれか1項に記載の房。

11. 前記囲い手段は、前記空間（1）の外の大気の内側に向かうガスの流れを防ぐエアカーテンを形成する方向を向いた空気出口手段（17, 26）を有している、請求項10に記載の房。

12. 前記囲い手段は、前記囲い手段の前記空気出口手段（17, 26）に本質的に対向して備えられ、かつ前記空気出口手段からの前記空気の少なくとも一部を受け入れるようになっている空気入口手段（24, 27）を有している、請求項11に記載の房。

13. 前記囲い手段は、前記空間（1）の外の大気の内側に向かうガスの流れを防ぐようになっている壁手段（2, 3, 4, 29）を有している、請求項10か

ら12のいずれか1項に記載の房。

14. 前記装置は動物に関連している手段を操作することによって前記行為を実行する自動作動装置（8，9）を有している、請求項1から13のいずれか1項に記載の房。

15. 前記動物に関連している手段は、前記房（1）内に居る前記動物の乳頭に前記自動作動装置（8，9）によって装着される少なくとも1つの乳頭カップ（7）を有している、請求項14に記載の房。

16. 前記送気手段は、少なくとも前記乳頭カップの装着の間は前記乳頭カップ（7）の近くに配置されている空気出口手段（18a）を有している、請求項15に記載の房。

17. 前記囲い手段は移送可能なコンテナ（29）を有している、請求項1から16のいずれか1項に記載の房。